

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675100111
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈重留1137番地 (電話) 0995-24-1688
自己評価作成日	平成27年2月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

少人数の6名で、一人ひとりの思いや能力に柔軟に応じながら家庭的な暮らしを目指している。四季に応じたイベントを実施。月に一回はそろって外出をし、楽しみの中で穏やかに暮らせるように支援している。また終末期に対する取り組みはそれぞれの思いやご家族との関係を構築する中で検討を重ね、ご希望の場合の看取りを実現している

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体法人は訪問介護・デイサービス・有料老人ホーム・グループホームを運営しており、地域の高齢者福祉の一端を担っている。
- ・防災対策に積極的な地域で、ホームでも防災訓練への参加やグリッブコールの導入等、積極的に活動している。
- ・協力医療機関・主治医・訪問看護ステーションと24時間の医療連携体制が構築されている。連携体制により、看取りも取り組んでいる。
- ・職員配置にゆとりがあり、利用者に合わせた支援を心がけ、工夫しながら取り組んでいる。
- ・利用者一人ひとりの力を活かせるように見守りを行い、できないところを支援するように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を施設の随所に掲示し日々職員が振り返り確認しながら業務に向き合えるようにしている	開設当初からの理念が、玄関・廊下・リビングに掲示している。理念に沿った年間目標があり、職員会議で定期的に振り返り、確認しながら理念に沿ったケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	ご近所とは日常的に野菜のやり取りをしたり、地域の方から声をかけていただいていたので防災訓練などを通じてかかわりを持ち続けている。	自治会に加入し、地域の防災訓練や校区の行事に積極的に参加している。グリップコールによる協力体制も整っている。地域の友人からの野菜等の差し入れもあり、ホーム行事の花見や敬老会・サマーボランティア受け入れ等、地域との交流を多く設けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所を散歩する時やご友人の面会時等の会話を通じて認知症の方への理解をいただけるように言葉添えしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎回の会議では取り組みや状況を報告している。またアンケート調査を実施するなどして意見を出しやすい環境への取り組みを行っている。</p>	<p>民生委員や行政・地域包括支援センター職員・家族等の参加で開催し、ホームからの報告や参加者のアンケート調査などを行い、意見交換をしている。退所された利用者の家族の参加もあり、意見は運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>同市内地域密着型サービス連絡会に出席し取り組みへの報告を行うなどして連携を図っている</p>	<p>ホームの運営推進会議や市内地域密着型サービス連絡会に参加している。市に出向いて運営上の相談等をこまめに行っており、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については禁止している。直接的な拘束にとどまらず日々のケアの中で間接的な拘束につながっていないか等を勉強会で振り返りながら確認をしている。</p>	<p>年間計画で勉強会を実施し、具体的な事例について検討し、ケアを振り返りながら職員の理解を深めている。無視や高圧的な態度をしないよう取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず自由な生活を送れるよう職員の連携で取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束に準じて勉強会を行いながら日々の振り返りとともに意識の統一を図っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在は事例が無く、今後対象の方がいた場合は取り組んでいく</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書を交わす際に説明を充分に行いながら不明な点は無いかの確認をし、以後もいつでも不明な点は聞いてもらえるように話をしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会の際や電話での報告に加え、ご意見箱の設置、推進会議の中でのアンケート調査等を行い、頂いた意見は検討している</p>	<p>利用者からは日常会話の中で思いを聞いている。家族からは敬老会や花見を兼ねて家族会を開催し、食事を一緒にしながら要望等を聞いている。訪問時は職員から声かけして、利用者の近況報告と共に要望を聞くようにして、要望等は運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常の業務の中や月に一回全員参加の職員会議で職員の些細な意見も聞き取り、検討している</p>	<p>毎月の職員会議や2~3ヶ月毎の食事会で職員の意見や提案を聞いている。出された意見等を反映できるよう努めている。管理者は個別相談を日常的に受けており、様子を見ながら管理者から声かけすることもある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員ひとり一人の勤務状況や就労時間の調整をするなどして働きやすい職場環境の提供他、能力や実績を反映した給与水準に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得のための勤務調整、対象者への勉強会などは個別に実施され、内外での研修会なども順次実施している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡協議会等には参加し常に情報を共有しているが、同業者等の交流は必要がない、と考える。同業者等の交流でサービスや質が向上するとは思わない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>口頭での聞き取りに加え普段の様子や言動、また言葉では訴えることができない方へは観察に基づく情報を共有することで関係づくりに役立っている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族が希望を伝えやすいように常に関係づくりを行っている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者それぞれを取り巻く環境を見極め話し合いをしながら柔軟に対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で本人本位で決定できるよう可能な限り柔軟な体制をとっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年に二回の食事の機会や、時間制限を定めない月に一回の面会の機会など、交流が持ちやすい環境を提供しながらそれぞれの絆が新しい形で構築できるように支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前からの関係を継続するために主治医の継続をし、他本人が希望する行きつけの美容室、尋ねたいお宅などへの訪問など多種多様に柔軟に対応している	利用者の希望で、美容室や買い物・墓参り等に同行したり、主治医との関係継続の支援を行っている。知人や親戚の来訪も多く、いつでも来てもらえるような雰囲気作りをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間でのトラブルが発生しないように常に職員は努力し、利用者間がお互いに声をかけあい助け合う形もできてきている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	それぞれの家族の環境を把握し退所後も相談に応じる支援を継続できている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員ひとり一人が日々向き合い得た利用者の思いを共有し常に思いを軸にした暮らしを検討し実施している。	利用者の言葉を聞き逃さないように努め、表情などからも思いや意向の把握に努めている。得られた情報は申し送りノートやメモ書きの「意向・思いの把握」に記録し共有している。意思疎通が困難の場合は本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	特に入所後に本人から語られる生活歴などを基に把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に観察や希望をくみ取る取り組みをしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日朝夕の申し送りでリアルタイムな気づきを大切に、ミーティングの機会に共有しながら計画に反映している。	本人及び家族の意見を聞いて職員や主治医の意見も参考に、担当者会議を実施し介護計画を作成している。モニタリングを1～2ヶ月毎に実施し、現状に即した計画になるようその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別記録や申し送り帳などを計画の作成に反映している		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	医療連携などの柔軟な体制で反映できるよう取り組んでいる		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	自治会からの問い合わせや入所前の近所の方の支援がある場合などは継続して受け入れている		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	全面的な受診の支援の実施に加えその時々に必要な他科受診を行い、あらかじめご家族とも相談しながら希望時や必要時は同行すること、変化の際の電話での報告の徹底等の支援を行っている。	本人の希望するかかりつけ医による受診を支援している。他科受診の場合も適切な医療が受けられるよう支援している。訪問看護師とかかりつけ医の連携も図られており、協力医療機関との24時間医療連携体制も築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護に相談できる信頼関係を構築維持できており、柔軟な対応が実施されている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	訪問看護の協力により早期退院は常に実現できている。また家族と協議し本人の入院中の精神的な不安が和らぐよう医療機関との関係を良好に保ち面会を通じて支援の継続を行っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	状況を見据え段階的に終末期のあり方について意見を交換しながら看取りへのとり組みを行い実現している	契約時に重度化等について段階的に意向確認し、同意書ももらっている。家族への主治医からの説明後、看取り希望の場合はカンファレンスを重ねて支援している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会を行うことでの事前の備えや実際の事故の場合の迅速な対応など日々申し合わせ支援につなげている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>グリップコールの設置。訓練の実施。ミーティングや普段の業務の中で申し合わせ、地域から実施する災害訓練に参加し担当者との申し合わせや実際に訓練を行っている</p>	<p>年2回、昼夜間想定避難訓練の他、市や校区での防災訓練にも参加している。スプリンクラーや自動通報装置を設置し、災害時の食糧等の備蓄もある。自動通報装置には、近隣のコンビニを登録し、自主防災組織に要支援事業所として組み込まれる等、地域との協力体制を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活背景や日々変化する時代背景もくみ取りながらの言葉かけやケアの変化を柔軟に行っている。	利用者の性格などを把握し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけに努めている。排泄介助や入浴介助時にはさり気なく声かけをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望には必ず答えを出し可能な範囲で実施する積み重ねている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調や能力に沿って個別化した過ごし方ができるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	美容室の継続や日々の衣類の選択など希望を取り入れた支援に心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	四季折々の食材やイベント食の提供、好きなものを食べていただけるように聞き取り、一緒に調理するなど実施できている	利用者と一緒に栽培した野菜を使って食材にしたり、誕生会や季節の行事食・ソバ打ち・保存食作りを行っている。庭でバーベキュー大会・そうめん流し・ミニ喫茶を実施したり、弁当持参の遠足等、多彩な「食」のイベントに取り組んでいる。利用者の力量に応じて調理や食事・片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人差を把握し毎日記録、総合的な摂取量が適切に確保できるように常に取り組んでいる		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きうがい。義歯については毎晩の洗浄剤での漬け置き、舌の洗浄、必要者の歯科受診などに努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	残された機能を誤った支援で失わないよう常に申し合わせ計画に反映するなどして努力している	排泄チェック表で排泄パターンの把握を行い、トイレでの排泄を支援している。表情や仕草でトイレ誘導もしている。布パンツにパットの利用がほとんどで、夜間は、十分な睡眠を取れるようにオムツやポータブルトイレも使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	それぞれ下剤の調整、食事形態や内容を注意するなどして予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間は固定せず入浴までの声掛けを柔軟な回答ができるようし、自己決定で入浴できるように支援している。	入浴は夏場は毎日、冬場は1日毎に実施。無理強いせず、いつでも希望に応じた入浴を同性介助で支援している。拒否のある利用者については声かけやタイミングの工夫で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や医療面で必要な場合を除き睡眠薬は使わず、日中の過ごし方で安眠につなげられるように努力している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬が変更になった際は目的や用法など説明し確実な投与の必要性に理解を仰ぎ何十にもチェックし誤薬が無い取り組みを徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの残存機能を生かした家事への参加や、イベントを通じて楽しみのある日常の支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節に応じた外出を月に一回程度は実施、個別にも希望に沿って外出の支援を行っている</p>	<p>日常的に散歩をしたり、近所のドラッグストアや菓子店に買い物に出かけている。受診帰りのドライブもしている。月1回は遠足やドライブを計画、外出できなかった時は喫茶コーナーを開催している。季節毎の行事に弁当持参で出かけたり、希望に沿っての外出等、出かける機会を多く設けるよう努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理能力に応じて自己管理で所持をし、外出の際の自由な買い物の支援をしている。また現金は困難な場合も心配事の解消に食事券などを個別に作り利用している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話の自己管理や電話、手紙のやり取りなどの支援を実施できている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間でくつろげるよう常に環境には配慮し、新たなソファの設置や精神状況に応じた配置などを臨機応変に対応し不必要な掲示物の乱貼をやめ視覚の情報を整理し、利用者の意見を反映しながら四季に応じた花や作品の展示などに努めている	食堂とリビングが分かれており、リビングは庭に面して明るく、コタツやソファで思い思いにくつろいだり、ホームの猫と触れあっている。静養室もあり、他の利用者の気配を感じながら過ごせるよう工夫されている。利用者の作品が展示されたショーケースや花が飾られ、加湿器や暖房設備で適度な環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	希望を踏まえた場所にくつろいで過ごせることができるように日々工夫をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご希望の物、使い慣れた物を持ち込んでいただけるように案内し安全面にも配慮しながら居心地のよい空間づくりに努めている	居室は掃き出し戸になっており明るい。利用者の生活習慣に合わせベットや布団などが工夫されている。利用者が使い慣れた品物や写真を飾り、落ち着いて過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や希望の場所に適切な高さの椅子を置く等工夫を繰り返し支援している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない